

## こよみ



2010年8月31日

コールセンターからの小さなよみもの



Vol.20

SRI  
ファンドファンドへの投資で、  
社会貢献!?

近ごろ、地球温暖化対策などの環境問題や、貧困撲滅、開発途上国支援などの課題について、世界規模の会議で真剣な議論が交わされているのはご存知の通りです。

これらはスケールの大きな話ですが、私たちに身近なところでも、気軽に社会貢献できることもあります。たとえば、最近「売り上げの一部で社会貢献活動を行なう」ことをうたった商品が増えています。日常生活の中にも、「社会貢献」という要素に価値を見出す消費者層が生まれているのでしょう。

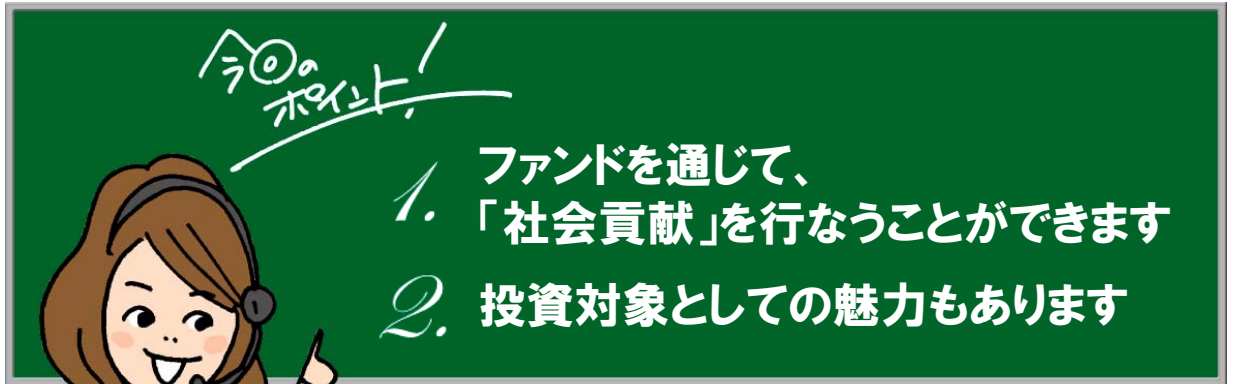
実はファンドへの投資でも社会貢献ができることはご存知ですか？

そこで皆さまには次の2点を押えていただきたいと思います。

1. ファンドを通じて、「社会貢献」を行なうことができます
2. 投資対象としての魅力もあります



コールセンターからの小さなよみもの



## 1. ファンドを通じて、「社会貢献」を行なうことができます

「SRIファンド」という言葉を聞いたことはありますか？ SRIとは Socially Responsible Investment の略語で、「社会的責任投資」を意味します。つまり、運用の目的に「社会貢献」という考え方を加えたものです。

日本初のSRIファンドは、実は当社日興アセットマネジメントで1999年8月に産声をあげました。主に環境問題への取り組みを行なう企業や、環境に配慮した製品を作っている企業などの株式に投資するファンドで、今も継続して運用されています。また、環境関連の企業の中でも特に水資源をテーマに限定したものなど、新興国を中心とする世界的な需要の高まりによる成長期待から生まれたファンドもあります。

ただし、これらは銘柄選別に社会貢献という要素を加えた投資手法ではありますが、お客さまのお金が直接的に社会貢献に使われるかといえば、必ずしもそうではありませんでした。しかし最近では、もっと直接的にファンドからのお金が振り向けられるタイプが出てきました。たとえば当社でも、ファンドから差し引く信託報酬の一部を、社会貢献活動を行なう団体などに寄付するファンドがあります。



コールセンターからの小さなよみもの

## 2. 投資対象としての魅力もあります

現在、地球規模で取り組まれる社会貢献事業には、様々なものがあります。2008年11月には、リーマン・ショック後のアメリカの景気対策の目玉として「グリーン・ニューディール政策」が立ち上げられました。“経済と環境の両立”をテーマに、風力・太陽光発電や省エネ対策を推進することで、経済の活性化と雇用創出が期待されています。環境・エネルギー分野に資金を投入する国は、中国など世界各国へ拡がりを見せています。日本のエコカー減税やエコポイントなどもその一環といえます。

また「京都議定書」の話題で耳にするCOP(Conference Of the Parties = 締約国会議)は、地球温暖化防止や生物保護などに取り組む場として、国際的な注目を浴びています。「気候変動に関する枠組条約についての締約国会議(COP16)」は今年11月にメキシコのカンクンで、「生物の多様性に関する条約についての締約国会議(COP10)」は今年10月に名古屋で開催されることになっています。

地球環境の“待ったなし”の状況に加え、各国とも環境事業をテコに景気浮揚を狙っており、これらの動きは、投資の観点から見れば「今後の成長産業」だといえるかもしれません。

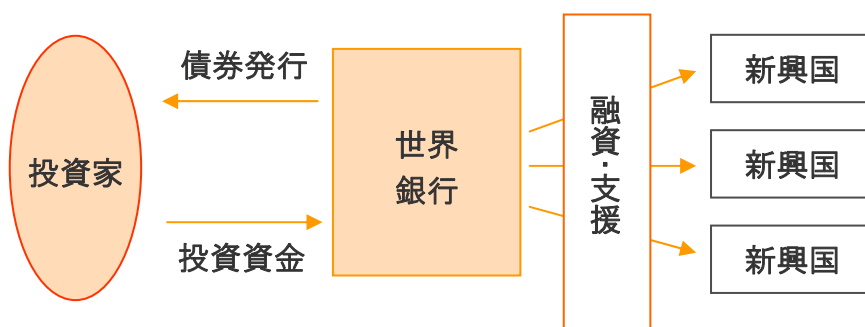
新興国支援も社会貢献活動のひとつと考えられています。新興国の発展過程では、道路などのインフラ整備の需要はもちろんのこと、生活水準の向上に伴った電力などエネルギー需要の伸びや、より豊かな生活を求めた消費の高まりが予想されますが、それらに対する金銭面や技術面でのサポートを行なっている世界銀行などの国際機関の活動は、まさに社会貢献の代表格でしょう。

実は戦後復興期の日本も、発電所や高速道路、新幹線の建設などの金銭面、技術面の支援を世界銀行から受けており、急速な経済発展の一助になりました。さらなる発展を求めている国・地域に対して、資金だけでなく技術も含めたサポートをしていく、そんな国際機関の活動はまさに国際協力・社会貢献事業といえます。



コールセンターからの小さなよみもの

たとえば世界銀行の活動資金や新興国などへの融資資金は、債券(世界銀行債券)を発行することで調達されます。それらの債券を投資対象とするファンドは、“より直接的なSRIファンド”といえるかもしれません。なぜなら、ファンドに投資したお客さまのお金は、世界銀行を通じて新興国などに届くからです。



世界銀行の発行する債券の中には、さらに資金の使いみちを明確にしたものもあります。たとえば、新興国が地球温暖化対策のためのインフラ整備などに利用するための「グリーンボンド」や、開発途上国に予防接種のためのワクチンを提供するための「ワクチン債」など、資金を使う先があらかじめ示された債券もあります。

もちろんファンドを購入する一番の目的は「お金を殖やすこと」だと思います。しかし、投資資金の一部が何らかの社会貢献に役立っているという実感が持てるなら、より関心をもってご自身の資産運用と付き合っていくのではないのでしょうか。

**nikko am**



コールセンター

**0120-25-1404**

営業時間 平日 9:00~17:00

